

# 1. SunDMSの概要

## 2. SunDMSご利用の流れ

- ① SunDMS申込方法
- ② SunDMSへのRooster登録方法

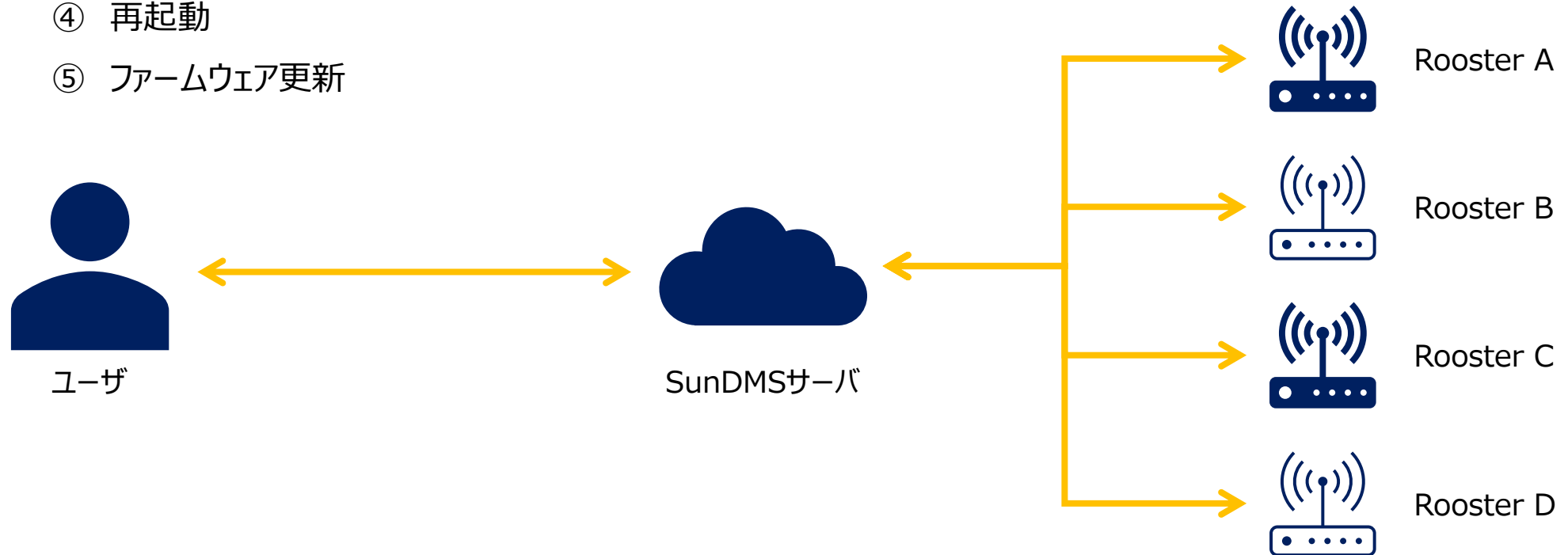
## 3. SunDMSの提供サービスとご利用方法

- ① 複数のRoosterの電波状況・接続状況の一元管理
- ② 状態監視・アラート発出
- ③ 通信ログ取得
- ④ 再起動
- ⑤ ファームウェア更新

# SunDMSの概要

# 1. SunDMSの概要

- SunDMSはサン電子Roosterシリーズ端末(以下Rooster)に標準搭載されるサービスです。
  - 対応機種 (AX220, RXシリーズ, DRXシリーズ, NSX7000)
- SunDMS無償サービスでは、Roosterに対し、主に以下 5 つのサービスを提供しています。
  - ① 複数のRoosterの電波状況・接続状況の一元管理
  - ② 状態監視・アラート発出
  - ③ 通信ログ取得
  - ④ 再起動
  - ⑤ ファームウェア更新



# SunDMSご利用の流れ

## 2-① : SunDMS申込方法

SunDMSホームページより利用申込することにより、オンラインで申込が完結いたします。

手順 1 : SunDMSホームページ(リンク)より“お申込み”を押下



手順 2 : 利用申請画面にて、利用者情報入力し、“申請”押下

The screenshot shows the 'SunDMSサービス利用申請' form. It contains the following fields: 'お名前 (姓)', 'お名前 (名)', '新しいパスワード', '新しいパスワード (確認)', 'メールアドレス', '会社名', '郵便番号', '都道府県' (with a dropdown menu), '市区町村', '町名番地', '部門名', '役職', and '画像認証' (with a CAPTCHA image). Below the form, there is a section for 'SunDMSサービス利用規約.pdf' and 'SunDMS-個人情報の取り扱いについて.pdf', with a checkbox for 'サービス規約に同意した上でSunDMSサービス利用を申請します。' and a '申請' button.

手順 3 : 手順 2 で設定したメールアドレスに送付されるURLにアクセスし、メールアドレスとパスワードを入力して“ログイン”を押下

The screenshot shows the login page. It has two input fields: 'メールアドレス' and 'パスワード'. Below the input fields, there is a 'ログイン' button (highlighted with a red box) and a 'パスワード再設定' link.

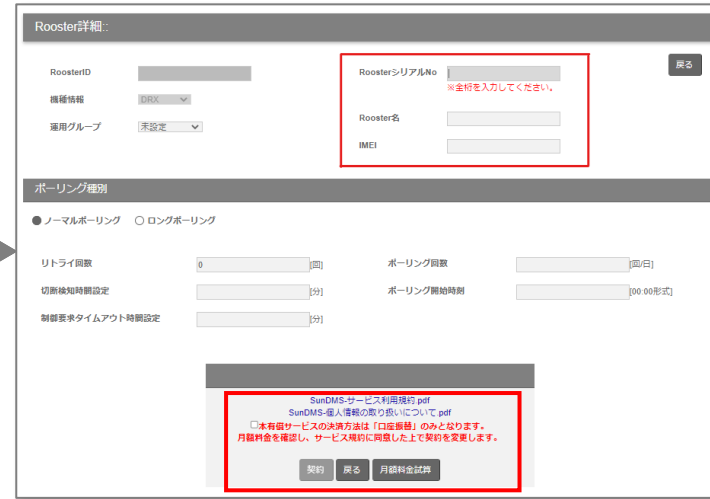
## 2-② : SunDMSへのRooster登録方法

SunDMS画面でRooster情報を入力することにより、Rooster登録が可能です。

手順 1 : SunDMSホーム画面の“Roosterを登録する”を押下



手順 2 : Rooster基本情報を入力し、“契約” ボタンを押下



- <Rooster基本情報>
- RoosterシリアルNo
  - Rooster名
  - IMEI

手順 1' : もしくは上部タブの“Rooster管理”→“Rooster一覧”を押下



手順 3 : Rooster一覧から、備考が“認証済み”となれば完了



# SunDMSの提供サービスとご利用方法

# (参考) ご利用方法詳細の確認方法

各手順の概要は本資料にて紹介しています。

より詳細なご利用方法は、下記を参考に、SunDMSからユーザマニュアルを取得し、ご確認ください。

SunDMSのwebページ ([リンク](#)) より、Home画面の上部タブからユーザマニュアルを選択し、ユーザマニュアルを表示

ユーザマニュアル

The screenshot shows the SunDMS web interface. At the top, there is a header with the SunDMS logo and 'Device Management Service'. Below the header, there are fields for 'テナント管理者' (Tenant Administrator) and '操作対象機種' (Operation Target Model). A red arrow points to the 'ユーザマニュアル' (User Manual) icon in the top navigation bar. Below the header, there is a 'メインメニュー' (Main Menu) section with several tiles: 'Roosterを管理する' (Manage Rooster), 'Roosterを登録する' (Register Rooster), 'アカウントを管理する' (Manage Account), and '有償サービスを契約/確認する' (Contract/Confirm Paid Service). A large arrow points from the interface to the user manual document.

Screenshot of the SunDMS User Manual document:

SUN CORPORATION  
SunDMS  
Device Management Service  
ユーザマニュアル  
2022/06/24 第 3.11 版  
1 / 267



# 3-①：複数のRoosterの電波状況・接続状況の一元管理 <利用手順>

電波品質・強度/接続状態の確認が可能です。（測定間隔は電波状況により約30秒～60秒の間で変化します）

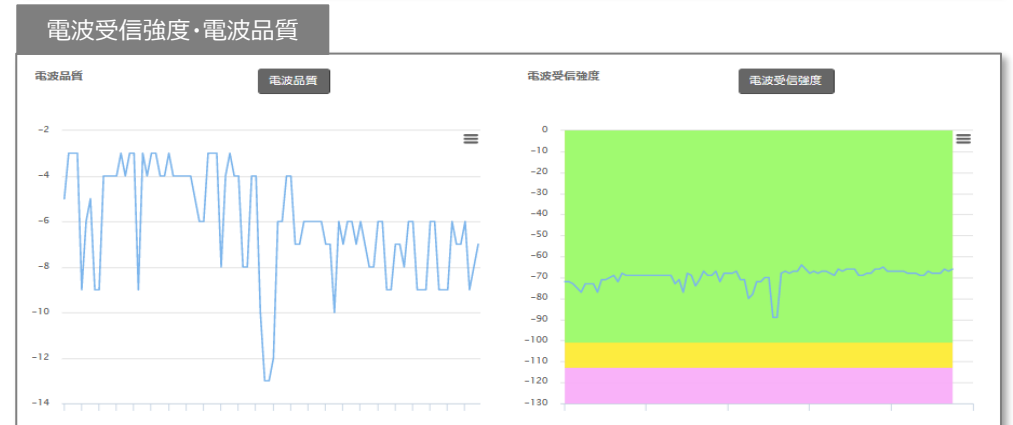
手順1：SunDMSホームページの“Roosterを管理する”を押下



手順2：複数Roosterの接続状態を確認。各Roosterの詳細状態を確認する場合は、“詳細”を押下

Rooster シリアルNo	Rooster名	処理中の制 御リクエスト 数	容量 (MByte)	ファーム ウェアバ ージョン	運用グル ープ名	接続状態	備考
DR00228001534	DRX5002 (T-1)	処理中0件	0/10	2.2.0		切断中	認証済み 編集 ファイル一覧 詳細
DR00228001535	DRX5002 (T-2)	処理中0件	0/10	2.2.0		切断中	認証済み 編集 ファイル一覧 詳細

手順3：各Roosterの電波受信強度・電波品質・接続状態のご確認が可能



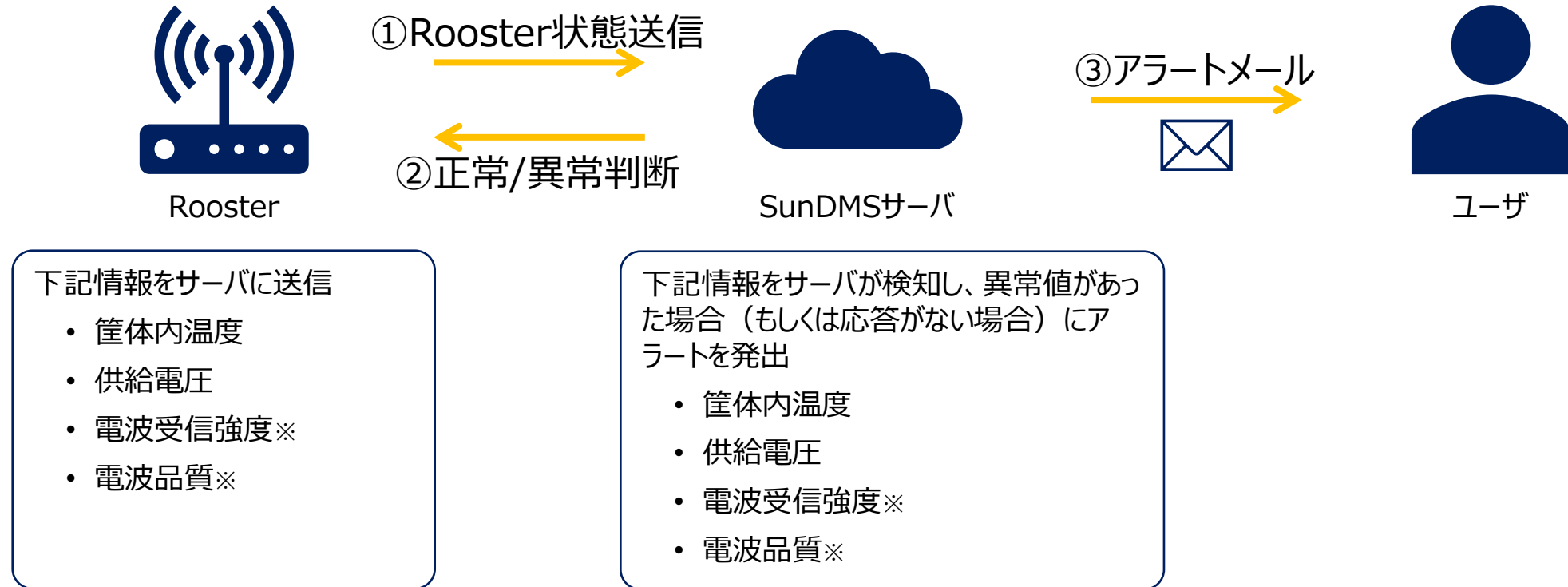
手順1'：もしくは上部タブの“Rooster管理”→“Rooster一覧”を押下



### 3-②：状態監視・アラート発出＜機能概要＞

RoosterがSunDMSサーバに対し、定期的にRooster状態（電波受信強度・電波品質・温度・電圧）を送信します。SunDMSが異常値を検知した場合、アラートメールをユーザに送信します。

無償サービスご利用のユーザは、異常検知後、最短180分後のアラートメール受信となります。より高頻度に状態確認したい場合は、有償スタンダードサービスをご利用いただくと、最短3分後にアラートメールを受信可能になります。



※電波受信強度・電波品質に対する閾値設定は、有償スタンダードサービスの申込が必要

## 3-②：状態監視・アラート発出＜利用手順＞

警報/異常のアラートレベルに応じたそれぞれの閾値を、“Rooster制御”より設定可能です。

手順1：“Rooster一覧”から対象Roosterをチェックし、“Rooster制御”を押下

<input type="checkbox"/>	RoosterシリアルNo	Rooster名	処理中の制御リクエスト数	容量 (MByte)	ファームウェアバージョン	運用グループ名	接続状態	備考	詳細	編集	ファイル一覧
<input checked="" type="checkbox"/>	DR00228001537	DRX5002 (T-4)	処理中:0件	1/10	2.3.0		切断中	認証済み			

手順3：設定値入力のダイアログに、指定の閾値を入力し、実行押下（※以下は供給電圧の異常条件の設定例）

設定値  ~

設定値を入力しない。

手順2：アラートのトリガーとしたい項目の“警報”もしくは“異常”を押下

コールドリポート  システムログ取得  設定ファイル取得

電波環境調査  システム内部情報取得

供給電圧

筐体内温度

電波品質

電波受信強度

手順4：“Rooster一覧”→“詳細”より、手順2～3で設定した閾値を確認可能

RoosterID: 61243 RoosterシリアルNo: DR00228001537

機種情報: DRX MACアドレス (LAN): 00:80:c5:7e:0b:98 MACアドレス (WAN): 00:80:c5:7e:0b:99

接続情報: 最終接続時刻: 2022-12-14 16:45:16 接続状態: 切断中

ソフトウェア情報: APバージョン: 1.3

ファームウェア情報: ファームウェアバージョン: 2.3.0 サブCPUファームウェアバージョン: 0x0011

筐体内温度: 異常: 下閾値: 28.5℃ 上閾値: 90.5℃ 警報: 下閾値: 20℃ 上閾値: 90℃

**Rooster供給電圧**: 異常: 下閾値: 4.7V 上閾値: 28.8V 警報: 下閾値: 4.75V 上閾値: 28.77V

### 3-③：通信ログ取得<利用手順>(1/2)

Roosterの通信ログをダウンロード・確認することにより、デュアルSIM端末ご利用の場合にどちらのSIMが通信中であるか確認できます。

手順1：“Rooster一覧”から対象Roosterをチェックし、“Rooster制御”を押下



手順3：ダイアログが表示されるので、処理のタイミングを設定し、“実行”を押下（以下は通信ログの即時取得時の設定例）



手順2：“システムログ取得”を選択し、“実行”を押下



手順4：“Rooster一覧”の処理リクエスト数が増えていることを確認



“処理中の制御リクエスト数”を押下し、リクエストのステータスを確認可能

### 3-③：通信ログ取得＜利用手順＞(2/2)

Roosterの通信ログをダウンロード・確認することにより、デュアルSIM端末ご利用の場合にどちらのSIMが通信中であるか確認できます。

手順5：“Rooster一覧”から対象Roosterをチェックし、“ファイル一覧”を押下



手順7：ダウンロードした“.tar.gz”を展開し、展開された“.tar”形式の圧縮ファイルをさらに展開



手順6：“ファイル一覧”から取得したい“システムログ”を選択し、“ダウンロード”を押下



手順8：展開されたvarディレクトリ内のvar¥log¥rsyslog¥userlogにある“mobile”ファイルをテキストエディタで開く。ファイル最下部を参照し、最新の通信情報を確認

```
Dec 14 15:49:34 : プロファイル'1'に接続します
Dec 14 15:50:01 : アンテナレベル:電波 4
Dec 14 15:50:12 : 'JP DOCOMO'ネットワークへの回線接続が確立しました
```

“.tar.gz”形式の圧縮ファイルをダウンロード



### 3-④：再起動（コールドリブート※）＜利用手順＞

Roosterのコールドリブートを、即時実行/予約実行が可能です。

※コールドリブート：電源断によるハードリセット

手順1：“Rooster一覧”から対象Roosterをチェックし、“Rooster制御”を押下



手順3：ダイアログが表示されるので、処理タイミングを設定し“実行”を押下  
(以下は予約実行時の設定例)



手順2：“コールドリブート”を選択し、“実行”を押下



手順4：“Rooster一覧”の処理リクエスト数が増えていることを確認



### 3-⑤：ファームウェア更新＜利用手順＞

適用可能なファームウェア一覧の中から、指定のファームウェアを選択し、適用が可能です。

手順1：“Rooster一覧”から対象Roosterをチェックし、“ファイル配信”を押下



手順3：“Rooster一覧”の処理リクエスト数が増えていることを確認



“処理中の制御リクエスト数”を押下し、リクエストのステータスを確認可能

手順2：指定のファームウェアを選択し、処理のタイミングを決定した後、“適用”を押下



設定が完了すると、ダイアログが表示



# (参考) SunDMS WAN ハートビート

有償スタンダードプランにてSunDMS WAN ハートビートをご利用中の場合、DRX5002におけるSIM切り替え条件の監視先ホストにSunDMS WAN ハートビートを設定することが可能です。

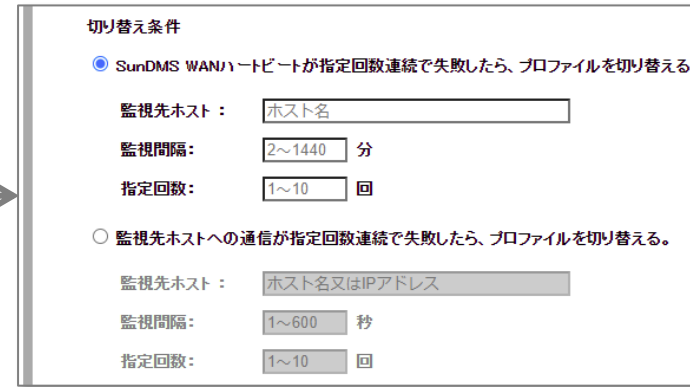
手順1：“サービス”タブ→“WAN ハートビート”を選択



手順2：SunDMS WANハートビート送信先ホスト名が表示



手順3：GUIにてプロフィール切替条件の設定を行う場合  
接続ガイド8-4⑤[切り替え条件]を参照し、“監視先ホスト”に手順2で取得した送信先ホスト名を入力



手順3’：CLIにてプロフィール切替条件の設定を行う場合  
接続ガイド8-5⑦[切り替え条件]を参照し、SunDMS WAN ハートビートの“dest-ip”に  
手順2で取得した送信先ホスト名

↓プロフィール切り替えの条件を指定します  
RoosterOS> set trigger sample1 event sundms-heartbeat dest-ip **<SunDMS WANハートビートのドメイン名>** interface mobile1 mode unreachable interval **<ping 通信の間隔[秒]>** threshold **<ping 通信の試行回数>** timeout 3



## (参考) SunDMS有償スタンダードサービスの提供内容

SunDMS有償スタンダードサービスを契約すると以下の機能も利用可能になります。

#	機能の名称	内容
1	状態監視の時間間隔変更	監視の時間間隔を最短1分(無償サービスでは最短60分)に設定可能 →最短3分(無償サービスでは最短180分)でアラートメール受信が可能となる
2	SunDMS WANハートビート	監視先ホストを設定することが困難な場合に、信頼性の高いSunDMSサーバーを相手先指定することが可能になる
3	後位端末死活監視機能(ICMP)	—
4	機器 & 回線情報の外部出力	取得したデータ(電波強度、電波品質、電話番号、温度/電圧、製造番号、ICCID、IMEIのレポート)の外部出力が可能になる
5	電波関連情報の保管 & 活用	電波関連情報の履歴表示とレポート出力
6	個別設定配信	Roosterの個別設定ファイル一括更新
7	IPアドレス表示機能	動的IPをSunDMSへ表示させることが可能になる ※プライベートIPアドレスはアクセス不可
8	パケット通過、遮断ログ表示	—